

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-001

PDCA	事務事業名	社会体育振興事業	部課等名	健康子ども部スポーツ課 振興担当	担当	瀧田	
					内線等	422	
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション					
		単位施策： (1) 生涯スポーツの実現					
根拠法令等	スポーツ基本法						
対象・目的	教室や大会などを開催するほか、半田市スポーツ協会への活動支援、スポーツ推進委員を中心とした地域のスポーツ振興などにより、第2次半田市スポーツ推進計画の目標値とする成人市民のスポーツ実施率65%を目指す。						
目的を達成するための手段・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>半田市スポーツ大会、半田市民スポーツ大会の開催</li> <li>はんだシティマラソン大会の開催</li> <li>各種教室・大会の開催</li> <li>半田市スポーツ協会への助成</li> <li>スポーツ推進委員の活動</li> </ul>						
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①各種教室・ニュースポーツ普及事業等参加者	591	738	696	人	
		②半田市スポーツ大会・半田市民スポーツ大会参加者	16,570	16,981	16,393	人	
		③はんだシティマラソン大会参加者	3,673	3,198	3,235	人	
		④「はんだスポーツの日」イベント参加者	418	650	770	人	
		⑤親子のスポーツ教室、研修会参加者	6,534	6,142	5,062	人	
		事業費	22,364	20,188	19,738	千円	
		人件費	19,098	19,264	10,220	千円	
	総事業費	41,462	39,452	29,958	千円		
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	①社会体育振興事業に係る市民1人あたりの経費	347	329	250	円/人		
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①スポーツ実施率(3年毎) ※週1回以上スポーツをする人の割合	実績値	47.43	47.43	47.43	%
			目標値	65.0	65.0	65.0	
②各種教室・大会等参加者数		実績値	27,786	27,709	26,156	人	
		目標値	33,200	33,200	33,200		
		実績値					
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある				
	事業の評価・課題	<b>D</b>					
		半田市スポーツ協会や半田市スポーツ推進委員連絡協議会、総合型地域スポーツクラブと連携してスポーツ大会やニュースポーツの体験イベント、スポーツ教室等を開催し、スポーツに触れる機会の創出に努めたが、参加人数が減少となった。					
		また、はんだシティマラソン及びはんだスポーツの日イベントについては、半田市PR大使を登用するなど新しい取り組みを行い、前年より参加者は増加したものの、前年は天候不良であったことを踏まえると課題の残るものとなった。					
	<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<b>改善推進</b>				
		スポーツ関係団体等と連携を図りながら各施策において魅力あるイベントを開催するなど、気軽にスポーツに触れられる環境を整え、スポーツ人口の増加に努める。					
		また、1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーや聖火ピジットの開催に向けて、心に残るものとなるようなレガシーの形成や参加型イベント等を実施し、スポーツの素晴らしさを伝えることにより、スポーツ実施率の向上を目指す。					
令和2年度の目標		成果指標	目標値	単位			
	①スポーツ実施率(3年毎) ※週1回以上スポーツをする人の割合	65.0	%				
	②各種教室・大会等参加者数	30,000	人				